



500人の観客が和楽器の音色に魅了された

四国電力宇和島支店 住民500人招き 邦楽コンサート

歴史的木造建築の講堂で

出身だったこともあって、今回のコンサートにつながった。

当日は邦楽の古典や自作曲、洋楽の曲も含め12曲を演奏。会場を埋め尽くした観客は普段接する機会の少ない和楽器の音色に魅了されるとともに、ジャンルを超えた多彩な演奏に感心していた。

会場は1915年(大正4年)に旧宇和町小学校の講堂として建てられた歴史的な木造建築。89年に現在の場所に移築され、武道館として使用されている。観客からも「木の温もりが邦楽にぴったり」といった声が聞かれた。

四国電力宇和島支店(渡里幸平支店長)はこのほど、愛媛県西予市の宇和米博物館講堂で尺八などからなる邦楽グループ「Geonon(ジーズオン)」によるコンサートを開催した。はがきによる応募者を中心に500人を招待。約100年前の木造建築物を会場に、温かな「和の音色」を届けて地域の人々とのふれあいを深めた。

「ジーズオン」は、東京芸術大学邦楽科卒などの尺八、三味線、箏(そう)奏者3人からなる邦楽グループ。リーダーを務める尺八奏者、中村仁樹さんが愛媛県宇和島市

宇和島支店は、地域に数多く残る古民家を電化リフォームなどにより住み継いでもらう「南予の古民家再生プロジェクト」を推進中。「コンサート」を通じて地域のお客さまに木造建築のすばらしさにも触れていただけたらと期待している。